

倫理カンファレンスの実施状況に関する 実態調査の実施について

医療現場において、診療・ケアを行うにあたっては、患者さんやご家族の尊厳を守ることは、医療倫理の基本です。当院でも、高度な急性期医療に努めるなかで、患者さんやご家族の尊厳を守り、患者さんにとって最善の急性期医療を提供することを倫理指針の中で謳っております。

しかしながら、倫理に関する様々な問題は、どこでも起こります。そのような問題の発生を予防したり、発生した場合にはいち早く察知し、問題解決にあたるのが、医療者の倫理的行動だと考えています。今後、よりよい医療を提供するために、現在どのような倫理的問題が生じているかを把握し、高い倫理観の育成や問題発生の予防や早期対応に努めてまいりたいと思います。

そこで今回、過去に病棟で行われたカンファレンスを振り返り、倫理的問題が話し合われた件数やその内容の実態把握をすることとしました。

【研究の対象・期間・内容】

小倉記念病院において2017年4月から2018年9月の間に全病棟において実施されたカンファレンスのうち、倫理的側面を含むものを調査の対象としています。

対象者となることを希望されない方は、下記連絡先へご連絡下さい。

【個人情報の管理について】

調査に際しては個人情報保護されるよう厳重な対策をとります。本調査への参加を辞退されても、診療や看護において不利益を被ることは決してありません。本研究の結果は、関連学会において公表(学会や論文等)することがあります。

【連絡・問い合わせ先】

小倉記念病院 看護部 クオリティマネジメント科
立野淳子

〒802-8555 北九州市小倉北区浅野三丁目2番1号
電話 093-511-2000(代)

